

## 2020 年度向けフットサル競技規則テスト

問 1. 第 1 条の条文について( )に当てはまる数字を下記の語群から選択して答えなさい。ただし、同じ数字を複数回使用してもよい。

- すべてのラインの幅は( )cm でなければならない。
- 国際試合以外の場合のピッチの大きさ  
長さ(タッチライン)： 最小( )m , 最大( )m  
幅(ゴールライン) : 最小( )m , 最大( )m
- 両ゴールポストの中央から( )m で両ゴールポストから等距離のところに第 2 ペナルティーマークを描く。
- ゴールのポストの間隔は、( )m(内側)で、クロスバーの下端からピッチ面までの距離は( )m である。
- 交替ゾーンは、チームベンチの直前に設け、その長さはそれぞれ( )m とする。その両端をタッチラインに直角に幅 8cm、長さ( )cm で描く。

### 語群 (問 1)

1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6 , 8 , 10 ,  
15 , 16 , 20 , 25 , 30 , 38 , 40 ,  
42 , 45 , 50 , 60 , 70 , 80 , 90

問 2. 第 2 条の条文について( )に当てはまる語句または数字を答えなさい。

### 品質と規格

ボールは次のものとする。

- ・球形
- ・( )、またはその他の適切な材質でできている。
- ・外周は、( )cm以下、( )cm以上
- ・重さは、試合開始時に( )g 以下、( )g 以上
- ・空気圧は、海面の高さの気圧で、( )~( )気圧
- ・( )m の高さから落下させたとき、最初のバウンドが( )cm以上、( )cm以下の範囲ではね返る

問 3. 次の再開方法のうち、(相手ゴールに)直接得点することができるものを、次のア~キから記号ですべて答えなさい。

回答欄：( )

- ア. 直接フリーキック ,      イ. 間接フリーキック ,  
ウ. ペナルティーキック ,      エ. キックイン ,  
オ. ゴールクリアランス ,      カ. コーナーキック ,  
キ. キックオフ

問 4. 第 12 条の条文について( )に当てはまる語句を答えなさい。

### 直接フリーキックで罰せられるファウル

競技者が次の 7 項目の反則を( )に、( )に、または( )で犯したと主審・第 2 審判が判断した場合、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- ・相手競技者を( )、またはけろうとする。
- ・相手競技者を( )。
- ・相手競技者に( )。
- ・相手競技者を( )する。
- ・相手競技者を( )、または打とうとする。
- ・相手競技者を( )。
- ・相手競技者に( )する。

次の 3 項目の反則を犯した場合も、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- ・相手競技者を( )。
- ・相手競技者に( )。
- ・ボールを( )に手、または腕で扱う(ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内にあるボールを扱う場合を除く)。

上記の項目の反則は、( )ファウルである。

## 警告となる反則

競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、警告される。

- ・( )的行為
- ・言葉、または行動による( )
- ・( )フットサル競技規則に違反する
- ・プレーの再開を( )
- ・コーナーキック、フリーキックまたはキックインでプレーが再開される時、既定の( )を守らない(守備側競技者)
- ・主審・第2審判の承認を得ずピッチに入る、復帰する、または( )に違反する
- ・主審・第2審判の承認を得ず意図的にピッチから離れる

問5. 次の(1)~(3)後の再開方法について、正しいものをア~エの記号で答えなさい。

(1)ゴールクリアランスが行われる際に、ゴールキーパー(以下、GK)がボールをペナルティーエリア(以下、PA)外に投げ出さず、持ったままPA外に出た。

(1)回答欄：( )

ア.GKのハンドリングの反則を採用し、PA外から相手チームの直接フリーキック(以下、FK)で再開する。

イ.GKのハンドリングの反則を採用し、相手チームのペナルティーキックで再開する。

ウ.PAライン上から相手チームの間接フリーキックで再開する。

エ.ゴールクリアランスを再び行う。

(2)主審・第2 審判が累積ファウル6 つ目からの直接 FK を行う合図をして、キックがけられたのちに、キッカーが得点を狙ってボールを前方にけらなかつたことが分かつた場合。

(2)回答欄：( )

ア.反則が起きた場所から行われる守備側チームの間接 FK で再開する。

イ.反則が起きた場所から行われる守備側チームの直接 FK で再開する。

ウ.守備側チームのゴールクリアランスで再開する。

エ.キックを再び行う。

(3) 交代要員が交代の進め方に違反してピッチに入ったが、主審・第2 審判はアドバンテージを適用した。そののち、その交代要員の相手チームの競技者がハンドリングの反則を犯し、プレーを停止した。

(3)回答欄：( )

ア.反則が起きた場所から交代要員のチームの直接 FK で再開する。

イ.プレーを停止したときにボールのあつた位置から交代要員の相手チームの間接 FK で再開する。

ウ.プレーを停止したときにボールのあつた位置からドロップボールで再開する。

エ.アドバンテージを適用したときにボールのあつた位置からドロップボールで再開する。

(以下、余白)